

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 19 日 作成

事務事業名		水道量水器取替え・購入事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり		所属部	水道局	課長名 久留 伸二
	施策	6	計画的な土地利用の推進		所属課	上下水道課	担当者名 太田 徹
	基本事業	16	快適な住環境の整備		所属班	庶務料金班	(内線) 1178
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果 12 コスト削減優先度評価結果
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 昭和37 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)						

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
計量法で8年と定められている量水器の法定交換及び不具合の発生(凍結により損壊したものやガラス面の曇りで検針が困難なもの等)した量水器を取替える事業である。
【業務の流れ】
①製造から8年を経過する量水器を事前に抽出し、該当する水道使用者へ通知する。
②業務委託により量水器を取り替える。
③取替え後は、量水器番号及び使用水量を台帳へ入力する。
④8年経過量水器を改造し使用可能にする。(業務委託)
1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 有効期限満了量水器(8年経過)の取替え、不具合の発生した量水器の取替えを実施。	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 20年度と同様
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	水道量水器	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) → ア 取替え対象量水器数 個 イ 購入量水器数 個
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	使用中の給水装置に、適正な量水器を設置する。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) → ア 取替え対象量水器数 個 イ 新規払い出し量水器数 個
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	快適な住環境で暮すことができる	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) → ア 取替済量水器数/取替対象量水器数 % イ 新規払い出し量水器数/新規給水申込数 % ⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) → ア 給水普及率 % イ

(2) 総事業費・指標等の推移											
投入量	事業費	単位	18年度実績(決算)	19年度実績(決算)	20年度目標(当初予算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	22年度(目標)	23年度(予定)	全体計画 ~ 年度	
	国庫支出金	千円								総トータルコスト (期間限定複数年度のみ記載)	
	都道府県支出金	千円									
	地方債	千円									
	その他	千円	7,814	6,183	10,070	8,736	14,761	7,949	7,949		
	繰入金	千円	1	8	101	1	101	75	75		
	一般財源	千円									
	(A) 事業費計	千円	7,815	6,191	10,171	8,737	14,862	8,024	8,024		0
	うち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	うち時間外、特殊勤務手当	千円	0	0	0	0	0	0	0		
人件費	正規職員従事人数	人	5	6	6	4	4	4	4		
延べ業務時間	時間	360	360	350	500	460	460	460	460		
(B)人件費計	千円	1,429	1,433	1,393	1,990	1,831	1,831	1,831	1,831	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	9,244	7,624	11,564	10,727	16,693	9,855	9,855	9,855	0	
活動指標	ア 個	2564	1771	2705	2518	3873	2200	2200	2200	目標合計値 22年度 97	
	イ 個	7	303	509	400	902	400	400	400		
対象指標	ア 個	2564	1771	2705	2518	3873	2200	2200	2200		
	イ 個	522	451	500	507	500	500	500	500		
成果指標	ア %	100	100	100	100	100	100	100	100		
	イ %	100	100	100	100	100	100	100	100		
上位成果指標	ア %	96.8	96.9	96.9	97	96.9	97	97	97		
	イ %										

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
水道量水器は、計量法で、適正な計量の実施を確保することを必要とされる特定計量器と定められており、計量法施行令第18条で有効期限が8年と定められていることに対応する量水器を設置しなければならない。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
・市内全体の水道使用者数(給水件数)は平成14年3月の16,687件から平成19年2月には、18,538件と5年間で1,851件増加しており、これに伴い事務量も増加している。また20年3月では、18,835件に増加している。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
特になし

事務事業名	水道量水器取替え・購入事業	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	---------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 計量法で定められている有効期限8年以内の取替え及び不具合が発生した場合の取替えにより、正確な使用水量が把握でき、適正な料金決定となる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 計量法に定められており、適正な料金決定のため妥当である。 現地での取替え作業は業務委託により行っている。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 ・適正な量水器を設置する事業であるため、対象は適切である。 ・意図についても適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 取替えが必要な量水器は全て取替えている。 随時量水器の在庫状況を点検し、必要数を購入している。
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 量水器の管理を怠ることとなり、正確な水道料金が決定できなくなる等、給水サービスに影響が出る。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段、事務事業) 水道料金決定収納事務との統合 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 量水器管理により、上下水道料金が決定できるので、本事務を水道料金決定収納事務と統一を図ることができる。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 適正に対応しており、削減により影響が出る可能性もある。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 現地での取替え作業は民間委託により実施しており、削減余地はない。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 全受益者に関する事務であり、公平である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性については、水道料金決定収納事務とつながりがあり、同一の事業として統一する必要がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 水道料金決定収納事務と統一する検討を進める。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持 低下			
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上	○																
	維持 低下																	

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
特になし

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	11	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)